

2010年5月31日

SAAJ NEWS RELEASE

企業会計基準公開草案第 39 号

「退職給付の表示に関する会計基準(案)」について意見書を提出

(社)日本証券アナリスト協会(会長:稲野和利 野村アセットマネジメント会長)は、3月に公表された企業会計基準公開草案第 39 号「退職給付の表示に関する会計基準(案)」(以下『ASBJ 案』)についての意見書を作成し、5月31日(月)に企業会計基準委員会(以下 ASBJ)へ提出しました。

【意見書のポイント】

- ✓ 従来は遅延認識していた「数理計算上の差異」を、その他の包括利益に計上し、貸借対照表で即時認識するという『ASBJ 案』を高く評価したい。5月6日に開催した退職給付会計についての勉強会に出席し、その後のアンケートに回答した検定会員のうち 72.7%は、ASBJ の提案を企業分析にとっての改善と受け止めて歓迎している。
- ✓ 以前から組替調整(リサイクリング)を伴う純利益表示を支持しており、「数理計算上の差異」についても組替調整をする『ASBJ 案』を支持する。しかしながら、わが国における「数理計算上の差異」の現行処理には、企業によって償却期間が大きく異なるという問題点がある。これを改善するため、当期の組替調整額を、注記において営業損益、営業外損益、特別損益、税効果へ区分して明瞭に開示することを提案する。合わせて、年金基金との現金授受の様な具体的な事象に基づき、組替調整をすることを提案する。
- ✓ 現在の国際的な会計基準で採用されているものを中心に開示項目を充実する『ASBJ 案』に対して、アンケート回答者の大多数(88.9%)は有用な情報が得られると考えている。ただし、為替変動に伴うボラティリティの大きさについて、財務諸表利用者の関心は非常に高い。このため、外国株式と国内株式、外国債券と国内債券を分けた年金資産の内訳開示や、各資産の通貨別構成比の開示など、さらなる開示項目の充実を提案する。

企業会計基準公開草案第 39 号

【添付資料】 「退職給付の表示に関する会計基準(案)」について

本件に関するお問い合わせは下記まで

(社)日本証券アナリスト協会

電話：03-3666-1577

担当：教育第一企画部長 かいます 貝増 眞